

テーマ

こんな光景、見かけませんか？ — けんかも大切なしつけの場 —

II-1

ねらい

子どもたちの日常生活の中でよくあるトラブルに対して、親がどうかかわっていくかを考え、自分の子育てについて見つめ直すきっかけとする。

対象

幼児から小学校低学年の子どもを持つ保護者

展開

♪エピソード♪

みつお君(7歳)、たかし君(5歳)、まゆみさん(4歳)は仲のよい3人兄弟です。今日も近くの公園のブランコで遊んでいます。いつもは2つあるブランコが今日は1つが壊れていて使えないようになっていました。

たかし：「次、ぼくに乗らせて」

みつお：「だめだよ。ぼくが先に乗ったんだから。」

まゆみ：「私も乗りたいな」

みつお：「まだ乗ったばかりだから、だめ。」

まゆみさんは「だめ」といわれてしまい、泣き出してしまいました。みつお君は、しかたなく、まゆみさんにブランコを譲ろうとしました。

すると、たかし君が、「順番はぼくの方が早かったんだから」といってブランコを横取りしてしまいました。

そばでその様子を見ていたお母さんは…。



ワーク1 この後、あなただったらどう対応しますか。話し合ってみましょう。

ワーク2 子どもの兄弟げんかや友達とのトラブルなどで、困ったことや悩んだことなど自由に話し合いましょう。

ワーク3 子どもに身につけさせたいことやそれに対する親のかかわりについて話し合いましょう。

活用のポイント

◎ 展開する際に押さえておきたいこと

- ・子ども同士のけんかやトラブルなどの機会をしつけのチャンスととらえ、親のかかわり方について話し合うようにしましょう。

◎ アレンジアドバイス

- ・時間が短いときにはワーク2を省略してもよいでしょう。
- ・ワーク3は、時間があれば付せん紙を使ってまとめるのもよいでしょう。

テーマ

ほめられるって、どんな気持ち？ － 2つのささやき －

II-2

ねらい

ほめられたり叱られたりする体験をとおして、子どもをほめて伸ばすことの大切さに気づく。

対象

全保護者

展開

2つのささやき (DEVIL or ANGEL)

【ワークシート
(資料編P30参照)】

DEVIL (デビル)	ANGEL (エンジェル)
早くしなさい!	ありがとう。
何やってんの!	がんばったね。
いい加減にしなさい!	助かったわ。
片づけなさい!	だいぶ上手になったね。
~~~~~	~~~~~
~~~~~	~~~~~

ワーク1

ほかにどんな“デビルとエンジェル”の“ささやき”があるか考え、表の空欄に記入しましょう。

ワーク2

二人組になってささやいてみましょう。

(1)一方の人が椅子に座り目を閉じ、ささやきに耳を傾けましょう。

(2)もう一方の人は背後(いろいろな方向)から感情を込めてささやきかけましょう。

(3)デビルのささやきを1分ずつささやいたら続いてエンジェルのささやきを1分ずつささやきましょう。

※ワーク1で完成した表の上から順に感情を込めてささやき、下までいったらまた上に戻って時間がくるまで(1分間)ささやき続けます。

ワーク3

2つのささやきから受けた感想を話し合みましょう。

ワーク4

ふりかえりを行い、ほめて伸ばすことの大切さを共有し合みましょう。

活用のポイント

◎ 展開する際に押さえておきたいポイント

・デビルのささやきを先に行い、エンジェルのささやきで気持ちよく終わるようにしましょう。

◎ アレンジアドバイス

・2つのささやきは、会社や団体、地域社会等での大人同士のコミュニケーションの在り方を考える研修会等にも応用できます。

・子どもに自信や意欲(やる気)をもたせるための言葉(資料編P31参照)をささやき合ってみると、より実感が持てるようになります。

テーマ

あなたならどうしますか？ — “叱り”の極意 PART 1 —

II-3

ねらい

子どもの心を傷つけずに叱るためにはどうしたら良いかを考え、日常生活にいかすことができるようにする。

対象

幼児から小・中学生の子どもを持つ保護者

展開

ワークシート



あなたなら どうしますか？

子どもがなかなか帰らず遅くなってやっと帰ったとき…

いつもなら夕食前に遊びから帰ってくるのに、今日は夕食の時間を過ぎても帰ってきません。一緒に河原で遊んでいた友だちはもう帰ってきています。

何かあったのではないかと心配でイライラして待っていたところに、ニコニコしながら子どもが帰ってきました。そして捕ってきた小さな魚を自慢しながら見せようとします。

ワーク1 自分ならどうするか(何と言うか)をワークシートに記入し、発表し合ひましょう。

ワーク2 子どもの気持ちを尊重し、ワーク1で記入した内容を書き換えてみましょう。

ワーク3 書き換えた内容をもとに、子どもを叱るときに心がけたいことについて話し合ひましょう。

活用のポイント

◎ 展開する際に押さえておきたいポイント

- ・「ニコニコしながら子どもが帰ってきました。」という記述に注目し、このケースの場合は、子どもの気持ちと行動を分けて考え、行動のみを叱ることが大切です。
- ・また、叱る際には、頭ごなしに叱るのと、心配していた自分の本当の気持ちを伝えるのとでは、どちらが効果的かを考えるようにしましょう。
- ・ふりかえりで「叱りのワンポイント」を押さえましょう。(資料編P32参照)

◎ アレンジアドバイス

- ・二人組になって親子の役(せりふ)を演じてみると実感が得られます。
- ・時間がないときには記入は省略し、話し合いのみでもよいでしょう。
- ・研修時間によって、「あなたなら、どう言いますか？— “叱り”の極意 PART2—」と合わせて実施するとより効果的です。

ねらい

子どもの心を傷つけずに叱るためにはどうしたら良いかを考え、日常生活に生かすことができるようにする。

対象

幼児から小・中学生の子どもを持つ保護者

展開

ワークシート



Aさんの言い方

- ① 早く勉強しなさい！…もう何時だと思っているの!?
- ② 何だ、このテストは！怠けている証拠だろ。
- ③ 何てことしてくれたの。そんな子に育てた覚えはありません。もう情けないったら…
- ④ 生意気言うんじゃない。親に養われているくせに…
- ⑤ いつから親に向かってそんな口をきくようになったの！
- ⑥ 何べん言わせれば気が済むんだ！
- ⑦ 何もかもあなたのためにしてあげているのに、どうしてお母さんの気持ちがわからないの！
- ⑧ だから言っただろ！ おまえには無理だって…
- ⑨ 他人に迷惑をかけない人間になりなさいね。

ワーク1 二人組になって、ワークシートの文章を感情を込めて言い合い、感想を話し合しましょう。

ワーク2 資料2（資料編P33、34）のBさんの言い方とAさんの言い方を比較し、違いをグループで話し合しましょう。

ワーク3 資料1「叱りのワンポイント」（資料編P32）を確認しましょう。

ワーク4 ふりかえりを行い、子どもを叱るときに心がけたいことを話し合しましょう。

活用のポイント

◎ 展開する際に押さえておきたいポイント

- ・「叱りのワンポイント」を押さえましょう。（資料編P32参照）
- ・プラスの表現（肯定文）で叱られたときや、Iメッセージ（主語が「私は…」）で叱られたときは、素直な気持ちになりやすいことを確認しましょう。

◎ アレンジアドバイス

- ・研修時間によって、「あなたなら、どうしますか？— “叱り”の極意 PART 1 —」と合わせて実施するとより効果的です。
- ・時間がないときは、「叱りのワンポイント」を押さえてからワーク2をやると効果的です。